

## ◇現戦略の策定段階

○ 現戦略の策定においては、①町民アンケート調査（16～18歳の男女573人と19～39歳の男女1,500人を対象）及び農業経営者アンケート調査（農業経営を行っている382人を対象）の2つのアンケートを行っている。⇒①のアンケートの質問項目「希望する子どもの数」を町の人口ビジョンに用いる出生率の設定に用いたほか、戦略策定の参考とした。

### ①町民アンケート（主なもの）

- ・ 住みやすくなるための環境や支援  
⇒（16～18歳）「バスや電車など公共交通が便利」(63.3%),「商店や娯楽が充実している」(39.3%)  
（19～39歳）「子育てと仕事を両立しやすい」(37.5%),「バスや電車など公共交通が便利」(34.8%),  
「医療・福祉が充実している」(31.4%)
- ・ 希望する子どもの数 ⇒（16～18歳）「2人」(66.3%),（19～39歳）「2人」(47.3%)
- ・ 子育て環境の満足度・不満理由  
⇒「満足・まあまあ満足」(77.4%)・不満理由「幼稚園・保育園・学童保育等での教育内容等が十分でない」(47.1%)
- ・ 仕事に対する満足度・不満理由  
⇒「満足・まあまあ満足」(57.2%)・不満理由「給料が安い」(65.5%),「休暇はとりにくい」(42.3%)
- ・ 就職もしくは転職・起業したい業種  
⇒（16～18歳）「医療福祉」(12.2%),「サービス業」(11.2%),「業種は問わない」(9.7%)  
（19～39歳）「業種を問わない」(17.5%),「医療福祉」(13.6%),「サービス業」(10.0%)

### ②農業経営者アンケート（主なもの）

- ・ 現状の課題 ⇒「売上高の減少」(42.2%),「機械・施設の老朽化」(40.7%),「後継者不足」(35.6%),「担い手高齢化」(33.3%)
- ・ 町が取り組むべき農業政策 ⇒「農業機械の更新の支援」(41.1%),「後継者の育成支援」(34.8%),「担い手確保への支援」(31.9%)

## ◇次期戦略に係るアンケートの考え方（案）

○ アンケートから戦略に掲げる事業の具体化を直接導き出すのは難しい。アンケートによって住みよさ・子育て・しごとに関するニーズなどの概観をつかみ、次期戦略の事業については現戦略の実績や検証を踏まえながら、実効（行）性のある具体化を行う。

- ・ 現戦略のK P Iの評価  
⇒ K P Iとしている「町民の子育てに対する満足度」「町民で住み続けたいと思う人の割合」をアンケートによって調査する。
- ・ 前回アンケートからの経時変化の調査  
⇒ 前回アンケート項目に対する回答が4年の時間経過によってどう変化したかと調査する。
- ・ 前回行った農業経営者アンケートについては行わず、来月にも行う人・農地プランのアンケート結果を必要に応じて参考とする。